

～ 朝 の 食 卓 ～

先月、旅行先のホテルで北海道新聞を読んでいると、朝から大変すがすがしく何か気持ちのよくなる記事を発見しました。

取り合えず、持参のデジカメで激写！！



掲載記事の執筆者は、何と夕張マウントレースイスキー場で活躍している**久慈直子さん**である。彼女のことは、スキー指導者であればご存知の人は多いと思われるが、SIA スキー教師で多くのスキーヤーから人間的に尊敬されている方です。

この短い文章に、彼女の子供たちに対する愛情が伺えられるエッセイであると感じた人は少なくはないと思います。

シーハイル！！

容疑者は昨日未明、乗用車を運転して徳島駅前前の通行禁止の区画に入ったため、警察官が職務質問した。高動を不審に感じた警察官が所持品を調べ、乗用車のダッシュボードの中とスポンのポケットにあつたはこの箱から大麻が見つかった。佐藤容疑者は「自分で使うために持っていた」と容疑を認めている。警察は入手先などを調べる。

京都大駒院は「大学前としては誠に遺憾で、早急に事実関係の把握に努め、結果に基づいて厳正に対処したい」とのコメントを発表した。

子供たちが手に宛紙を持って私にニコニコしながら見せに来る。よい頑張ったな」と褒めてあげる。先日、定山溪で開かれたランニングの大会に、10人の子供たちが行ってきた。

この子供たちは競技スキーの選手で、冬は夫がコーチを務めているが、雪のない時期は私がトレーニングを任されている。フルに來ている子で、週4日、有無を言わせず、ハードなトレーニングをこなしてもらう。中には泣きながら走る子もいる。「泣いても、もええからがんばり」とか、「泣いても、もうええ」とは言わへんで」と私は鬼コーチだ。春から三つの大会に参戦した。

私はこの子供たちに、大会に出ることによ

り、練習が結果に結びつくことを知ってほしいと思っている。そしてもう一つは、子供たちを応援する家族が、一丸となって夢を見て、希望を膨らませてくれたらいいと願っている。

子供たちにあまりたくさんを望むのは簡だが、この子供たちには目に見えないもの、つかみどころがないものに対して心を注ぐことも望んでいる。

震災で被災した子供たちの中にも競技スキーをしていた子がいるはず。ヘルメットもスキーもみんな失った子もいるだろう。スポーツで自身を強くし、他人を思いやれる余裕をも増してくれたら」と願っている。(スキー教師・夕張)

FUNAKOSHI
舟越保武
Yasutake
×